

全国小学校英語教育実践研究会 令和2年度 「わたしの英語教育実践」	4年 外国語活動（9月） Let's Try!2 Unit 4 第1時/4時間扱
③ 言語活動の充実を目指した授業づくり	京都市立石田小学校 4年担任 鈴木 美香

## 自分のお気に入りの時間について伝えたいな、聞きたいな！

新しい単元の学習を始めるときには、子どもたちが単元の最後に行う言語活動を指導者が1時間目に示すようにしている。その際、最も大事にしていることは、子どもたちが「その活動をやってみたい!」「自分のことを友だちに伝えたい!」「友だちの話を聞いてみたい!」と子どもたちの本物を引き出すことができるようなゴールの活動にすることである。そこで本単元では「ステイホーム中に見つけたお気に入りの時間を伝え合おう」というコロナ禍ならではのゴールの活動を設定した。



T: (写真を見せながら) What time is it?  
 S1: 犬の写真や。散歩ちゃう? S2: 散歩やったら、朝の7時?  
 T: It's 5 a.m. One, two. Ss: It's 5 a.m. 5時? T: Yes! It's "Walking Time".  
 S3: やっぱり散歩や。 T: That's right! We enjoy walking.

指導者が実際に子どもたちに出合わせたい表現を繰り返し使うことで、子どもたちに気付きを促したり、活動に見通しをもつことができるようにしたりすることができた。また、学習計画は1時間目と4時間目のみ入った計画表を掲示するようにしている。これは、4時間目にゴールの活動をするためには、2時間目と3時間目にどんなことができるようになるか、ということ子どもたちが考えることで活動に必然性が生まれ、主体的な学びにつながると考えたからである。

S1: What time is it?  
 S2: えー、何時やろ? A.m.? P.m.?  
 S1: It's p.m.  
 S2: きっと、兄妹がそろっているから…It's 6 p.m.?  
 S1: No. What time is it?  
 S2: もっと早いかな。It's 5 p.m.?  
 S1: Yes! It's 5 p.m. It's "Game Time".  
 Do you like games?  
 S2: Yes! I like games!  
 S1: Me, too!



指導者が子どもとやり取りをしながら単元を進めることが、子ども同士のやり取りの充実につながると考える。今後も、言語活動の充実を目指した授業づくりを心がけていきたい。



### 指導助言・アドバイスコーナー

授業において、指導者が各教科等の目標と子供の実態、教材を踏まえ、どのような姿になってほしいのかを明確にし、それを子供たちと共有することが大切です。子供たちがどこに向かって学習を進めていけばよいか分かっているからこそ、「主体的に」学習に取り組むことができます。その姿を単元のどこで示すかは、教材や学習内容にもよりますが、鈴木教諭は、その姿を第1時に示し、どのような内容を学習するのかを子供たちとやり取りをしながら推測させています。本実践から、子供たちが、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせながら、友だちや指導者、教材、自分自身と主体的に対話をしながら、学びを深めている様子が伝わってきます。  
 (文部科学省 視学官 直山 木綿子)